

(参考)「義務教育人口推計表」の読み方

推計作成年度のみ、5月1日現在の実数となっています。

推計作成年度のみ、5月1日現在の実数となっています。

保有している教室数です。

向こう6年間の児童・生徒数の推計値です。

向こう6年間の学級数の推計値です。

小 学 校  
○ ○ 区

学 校 名	個別支援学級		推 計 ( 一 般 学 級 )								推 計 ( 一 般 学 級 )						教室状況		校地 面積 ㎡
	児童数	学級数	児 童 数								学 級 数						一般	個別	
			30年	30年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	30年	31年	32年	33年	34年			
○○○	28	5	585	578	570	556	540	504	482	19	18	18	18	18	17	16	20	5	** , ***
☆☆台	17	3	520	582	586	588	591	587	593	18	19	19	18	18	18	18	22	3	** , ***
△△が丘	20	5	581	586	625	646	659	657	675	19	18	19	20	20	20	21	19	5	** , ***
◎◎	18	4	605	630	655	642	654	661	677	19	20	21	21	21	21	21	21	4	** , ***
○ ○ 区 計	83	17	2,291	2,376	2,436	2,432	2,444	2,409	2,427	75	75	77	77	77	76	76			

★推計表の読み方の例 その1

この学校は、教室が19ありますが、児童数の増加により、平成33年度には学級数が20学級となり、教室が不足してしまうことが予想されます。

この見込みが現実のものとなりそうな場合、様々な対策がとられますが、その一つとして、通学区域の変更が行われることがあります。マンションやまとまった数の戸建て建設を計画する際は、その点に御配慮いただくとともに、住宅を販売する際は買主に対し、十分な説明をお願いします。

★推計表の読み方の例 その2

この学校は、学級数の推計値が21学級のまま移行しています。教室は21あるので、現状は収まっていますが、例えば、一定規模のマンションが建設され、児童数が増加した場合、教室が不足してしまうことが予想されます。

このような場合、様々な対策がとられますが、その一つとして、通学区域の変更が行われることがあります。マンションやまとまった数の戸建て建設を計画する際は、その点に御配慮いただくとともに、住宅を販売する際は買主に対し、十分な説明をお願いします。